

1 狭山の略年表

年 号	西 暦	で き ご と
旧石器時代	BC 11000	このころ根岸の西久保遺跡が作られる。
縄文時代中期	BC 3500	このころ入間川の両岸台地上を中心に、笹井の宮地遺跡をはじめとする多くの集落が作られる。
古墳時代後期	600	このころ上広瀬古墳群が作られる。
霊亀 2. 5. 16	716	武蔵国に高麗郡が設置される。
神護景雲 2. 7. 11	768	入間郡出身の物部直広成、入間宿彌の姓を賜る。
嘉祥 3. 6. 3	850	広瀬神社が官社に列せられる。
寛平年間	889 ~ 898	このころ女流歌人伊勢により、「ほりかねの井」の歌が詠まれる。
元暦元. 5	1184	源義仲の嫡男清水冠者義高、入間川で討たれる。
元仁 2. 2	1225	このころ入間川が宿場として成立する。
元弘 3. 5. 11	1333	新田義貞、小手指原で幕府軍と戦い入間川に陣を敷く。
観応 3. 2. 28	1352	足利尊氏、新田義興・義宗と入間川などで戦う。
文和 2. 8	1353	鎌倉公方の足利基氏、新田氏の動きを牽制するため9年に及び入間川に滞陣する。
応永 20	1413	このころ柏原に増田を名乗る槍鍛冶が誕生する。
文明 14	1482	聖護院門跡の道興准后、笹井の観音堂を訪れる。
天文 6. 7. 15	1537	北条氏綱、東三ッ木に出陣して上杉朝定の河越城を奪う。
同 14. 9. 26	1545	上杉憲政、柏原の城山砦に陣を敷き河越城を包囲する。
永禄 8. 4. 28	1565	北条氏、柏原鍛冶師に対し年間20挺の槍製造を命じる。
同 10. 10	1567	神田を名乗る柏原鋳物師が活躍をはじめめる。
天正 16. 1. 8	1588	北条氏照、笹井の観音堂配下の山伏に対し軍役を命じる。
元和~寛永	1615 ~ 44	徳川家光、鷹狩りに際したびたび広福寺を訪れる。
承応年間	1652 ~ 55	このころ堀兼村、上赤坂村、中新田が川越城主松平信綱により開発される。
寛文 6	1666	水野村が川越城主松平輝綱により開発される。
同 9. 6. 4	1669	日光街道根岸村の助郷として広瀬村、笹井村が指定される。
元禄 3. 12. 12	1690	入間川村と広瀬村の間で村境争論が起こる。
享保 19. 3. 25	1734	下奥富村と柏原村の村境争論につき、幕府裁許状が下りる。
寛保 2. 8	1742	大雨により入間川が氾濫、上広瀬村、下広瀬村、上奥富村、下奥富村などに大被害が出る。
宝暦 9. 4	1759	北入曽村から七曲井の修復願いが出され、現用井戸として最後の工事が行われる。
明和 2. 1. 2	1765	入間川村の豪商綿貫家、伝馬騒動により打ち壊しにあう。

年 号	西 曆	で き ご と
文化 8	1811	根岸村・黒須村間の日光街道に渡し船が設置される。
文政 3	1820	大干ばつにより市域各村の米作に被害が発生、収穫不能に陥る。
天保年間	1830～44	このころ狭山茶の生産が市域各村で本格的にはじまる。
慶応 2. 6	1866	武州一揆発生、南入曽村、上広瀬村、笹井村の富農が打ち壊される。
同 2. 7	1866	堀兼村、水野村、上赤坂村、中新田など 19 か村、川越藩による農兵取り立て反対を唱え騒動を起こす。
同 4. 5. 23	1868	笹井村で官軍と幕府軍が衝突、飯能戦争が起こる。
明治 4. 11. 14	1871	入間県が設置され、市域村々はすべて同県に属す。
同 6. 6. 15	1873	入間県と群馬県が合併して熊谷県が誕生する。
同 7	1874	市域各村に小学校が設立される。
同 9. 8. 21	1876	熊谷県が廃止され、旧入間県は埼玉県と合併する。
同 9. 10	1876	上広瀬に県内最初の機械製糸工場が設置される。
同 12. 3. 28	1879	三ツ木村が東三ツ木村となる。
同 22. 4. 1	1889	町村制の施行により、入間川村、入間村、堀兼村、奥富村、柏原村、水富村が誕生する。
同 24. 8. 15	1891	入間川村が町制を施行する。
同 26. 3. 26	1893	入間川町が大火、100 戸余が焼失する。
同 28. 3. 21	1895	川越・国分寺間を結ぶ川越鉄道が開通、入間川駅、入曽駅が開業する。
同 34. 5. 10	1901	入間川・飯能間を結ぶ入間馬車鉄道が開通する。
同 43. 8	1910	未曾有の大雨により関東各地で河川が氾濫、水富村、柏原村、奥富村で大被害を出す。
大正 元. 11. 16	1912	大正天皇が入間川町に行幸、稲荷山で陸軍特別大演習を統監される。
同 2. 7. 9	1913	入間川町に最初の電灯がともる。
同 10. 12. 1	1921	水富村で小作争議が起こる。
同 12. 8	1923	富士見橋（現本富士見橋）が完成する。
同 15. 11	1926	入曽・川越間を結ぶ丸慶バスが営業をはじめる。
昭和 3. 11. 31	1928	入間銀行、経済恐慌のあおりを受けて営業を停止、武州銀行に合併される。
同 5. 6. 16	1930	豊水橋が完成する。
同 5. 7. 1	1930	県立農事試験場入間川園芸部が開場する。
同 8. 4. 1	1933	稲荷山公園駅が開業する。
同 13. 12. 10	1938	陸軍航空士官学校が移転開校する。
同 14. 6. 1	1939	コンクリート製の笹井堰が完成する。

年 号		西 暦	で き ご と
昭和	16 . 4 . 1	1941	尋常小学校が国民学校となる。
同	18 . 3 . 26	1943	入間川町豊岡町ほか7か村合併不成立に終わる。
同	13 . 12 . 10	1938	陸軍航空士官学校が移転開校する。
同	20 . 5 . 26	1943	笹井が空襲され、死者12人、焼失家屋61戸を出す惨事となる。
同	20 . 8 . 15	1945	敗戦。陸軍航空士官学校で、徹底抗戦を叫ぶ青年将校が反乱を起こす。
同	20 . 9 . 13	1945	米軍が陸軍航空士官学校に進駐、のちジョンソン基地となる。
同	20 . 10 . 15	1945	稲荷山公園（旧ハイパーク）が戦後占領される。
同	22 . 4 . 1	1947	六三制施行により、中学校が設置される。
同	22 . 9 . 15	1947	カスリン台風来襲、柏原村、水富村が大被害をこうむる。
同	23 . 9 . 15	1948	県立川越高校入間川分校が開校する。
同	25 . 8 . 6	1950	入間川七夕まつりに工夫をこらした竹飾りが登場、現在の七夕まつりの原形を作る。
同	29 . 3 . 18	1954	入間川町ほか5か村による町村合併研究会が結成される。
同	29 . 5 . 29	1954	新市の名称を狭山市とすることが決まる。